

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2011-526864(P2011-526864A)

【公表日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2011-516289(P2011-516289)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/40 (2006.01)

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 E

B 6 5 D 83/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

揮発性材料ディスペンサ用のオーバキャップであって、
放出端のあるバルブシステムを有する容器上への取り付けに適合した、ハウジングと、
前記バルブシステムへの係合に適合した、バルブ接続部と、
前記バルブ接続部から延びる固定具と、

前記固定具が成す面またはその面の下に配置されたヒンジにより前記ハウジングへ取り付けられたトリガと、

前記バルブシステムを起動させるために前記固定具と相互作用して前記バルブ接続部を加圧する、前記トリガ内に配置された接触部と、
を備える、オーバキャップ。

【請求項2】

前記バルブ接続部から延びる前記固定具は、少なくとも1つの突起を備える、請求項1に記載のオーバキャップ。

【請求項3】

前記トリガ内に配置された前記接触部は、少なくとも1つのノッチを備える、請求項2に記載のオーバキャップ。

【請求項4】

前記バルブ接続部から延びる前記固定具は、環状リングを備える、請求項1に記載のオーバキャップ。

【請求項5】

前記トリガ内に配置された前記接触部は、そこから延びるレッジを備える、請求項4に記載のオーバキャップ。

【請求項6】

前記ヒンジは一体ヒンジである、請求項1に記載のオーバキャップ。

【請求項7】

前記トリガは前記ハウジングに一体的に取り付けられている、請求項1に記載のオーバキャップ。

【請求項 8】

前記トリガは、トリガを貫通する放出開口を含み、前記バルブ接続部は、前記トリガの放出開口に隣接する位置まで延びている、請求項1に記載のオーバキャップ。

【請求項 9】

容器と組合わされる、請求項1に記載のオーバキャップ。

【請求項 10】

揮発性物質ディスペンサを起動する方法であって、

放出端のあるバルブシステムを有する容器上への取り付けに適合したハウジングと、前記バルブシステムへの係合に適合したバルブ接続部と、前記バルブ接続部から延びる固定具と、前記固定具が成す面またはその面の下で前記ハウジングへ一体的に取り付けられたトリガと、前記トリガ内に配置された接触部と、を備える、揮発性物質ディスペンサを提供し、

前記トリガの動きによって前記接触部が前記固定具と相互作用して、前記バルブ接続部を移動させるために、前記固定具により画定される面に概ね平行な方向に前記トリガを押しつける、方法。

【請求項 11】

容器を提供するステップを更に含む、請求項10に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

図10A～10C、11A、11B、12A、12B、13を参照すると、オーバキャップ54は更にバルブ接続部130を含んでいる。バルブ接続部130は、垂直に長く延びたチューブ部132を含み、その末広がりの先端134は、バルブシステム68との係合に適合した開口136を形成する。バルブ接続部130は更に、斜め方向に延びるチューブ延長部138を含み、これは、垂直に延びたチューブ部132と一緒に形成され、流体がこのチューブ部132、138を通って移動できるようになっている。チューブ延長部138は、トリガ96の放出路110に隣接する地点にまで延び、そこで放出路110の中に挿入されたノズル140、または斜め方向に延びるチューブ延長部138の先端自体が、チューブ部138と流体連通される。図10A、10B、10Cに示すように、チューブ部132と138との間は、角度Bを成し、この角度Bは、バルブ接続部130がトリガ96の内部に嵌合し、かつ互いに補完する形状となるように製造される。